

## 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 19 年 8 月 2 日

上場会社名 大宝運輸株式会社  
コード番号 9040

上場取引所 名証第二部  
URL <http://www.taiho-gh.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小笠原和俊  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 足立敏治 TEL : ( 052 ) 871 — 5831

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の業績 (平成 19 年 3 月 21 日 ~ 平成 19 年 6 月 20 日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	2,649	1.5	146	86.8	156	83.8	39	1.4
19年3月期第1四半期	2,609	△5.0	78	△15.6	85	△12.8	39	0.3
19年3月期	10,504	—	324	—	330	—	124	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	5	25	—	—
19年3月期第1四半期	5	17	—	—
19年3月期	16	50	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年3月期第1四半期	10,067	7,036	7,036	7,036	69.9	932	96	
19年3月期第1四半期	10,145	6,991	6,991	6,991	68.9	926	71	
19年3月期	9,888	7,034	7,034	7,034	71.1	932	73	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金	
	第1四半期末	
	円	銭
19年3月期第1四半期	—	—
20年3月期第1四半期	—	—

3. 平成 20 年 3 月期の業績予想 (平成 19 年 3 月 21 日 ~ 平成 20 年 3 月 20 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	5,500	3.5	325	95.8	325	87.9	130	73.4	17	24
通期	11,000	4.7	700	115.6	700	112.0	300	141.0	39	78

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※業績予想の適切な利用に関する説明

第 1 四半期の業績は、概ね予想通りに推移しており、業績予想については、中間期及び通期ともに平成 19 年 5 月 10 日の決算発表時点と変更はありません。

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期におけるわが国経済は、円安で好調な輸出産業の企業業績を背景に堅調に推移し、個人消費におきましても雇用環境の改善により、緩やかに持ち直す傾向が出てまいりました。

当社を取り巻く環境は依然厳しく、物流業界は厳しい事業者間競争による販売単価の下落に加え、労働力不足に対応するため採用コストの増加、円安による燃料費の高騰など厳しい条件の下で推移しました。

このような経営環境の中で、物流サービスの品質向上による顧客確保に注力し、営業収益は前年同期比より 39 百万円増加して 26 億 4 千 9 百万円 (対前年同期比+1.5%) となりました。

利益面では、新規業務対応と組み合わせ、積み合わせ配送等の業務改革を実施し、業務の効率化を図りました。営業利益は前年同期比と比べて 6 千 8 百万円増加して 1 億 4 千 6 百万円 (対前年同期比+86.8%)、経常利益は 1 億 5 千 6 百万円 (対前年同期比+83.8%) となりました。当第 1 四半期の純利益は、会計処理の方法を変更して役員退職慰労金の過年度相当額を一括繰入計上したこと等により、3 千 9 百万円 (対前年同期比+1.4%) となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期の財政状態は以下の通りであります。

総資産は前事業年度末と比較し 1 億 7 千 8 百万円増加し、純資産は 1 百万円増加し、自己資本比率は 69.9%となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

第 1 四半期の業績は、概ね予想通りに推移しており、業績予想については、中間期及び通期ともに平成 19 年 5 月 10 日の決算発表時点と変更はありません。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

(役員退職慰労引当金)

従来、役員退職慰労金の過年度相当額 245,726 千円については平成 18 年 3 月期より 5 年間で均等額を繰入計上することとしておりましたが、当期より一括繰入計上する方法に変更しました。

この変更は、改正後の「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」(日本公認会計士協会 監査・保証実務委員会報告第 42 号) が当期公表され、これを早期適用したことによるものであります。

この変更に伴い、過年度相当額の残額 147,435 千円を特別損失に計上しております。この結果、従来の方法によった場合と比較して、税引前第一四半期純利益は 135,149 千円減少しております。

(固定資産の減価償却の方法)

当期より法人税法の改正に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得した資産については、改正後の法人税法に規定する方法により減価償却費を計上しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

単位：千円

単位未満切捨

科 目	当第 1 四半期 (平成 20 年 3 月期第 1 四半期末)		平成 19 年 3 月期末		増 減 (△印減)	前第 1 四半期 (平成 18 年 3 月期第 1 四半期末)	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	金 額	構成比率
<b>(資産の部)</b>		%		%			%
<b>I 流動資産</b>	3,220,361	32.0	2,941,336	29.7	279,024	3,215,085	31.7
<b>II 固定資産</b>	6,846,748	68.0	6,947,528	70.3	△100,780	6,930,514	68.3
有形固定資産	6,258,760	62.2	6,356,089	64.3	△97,329	6,431,353	63.4
無形固定資産	32,561	0.3	33,777	0.4	△1,215	31,471	0.3
投資その他の資産	555,425	5.5	557,661	5.6	△2,235	467,689	4.6
資産合計	10,067,109	100.0	9,888,865	100.0	178,244	10,145,600	100.0
<b>(負債の部)</b>							
<b>I 流動負債</b>	1,850,811	18.4	1,682,812	17.0	167,999	1,906,650	18.8
<b>II 固定負債</b>	1,180,216	11.7	1,171,343	11.9	8,872	1,247,154	12.3
負債合計	3,031,028	30.1	2,854,156	28.9	176,871	3,153,804	31.1
<b>(純資産の部)</b>							
<b>I 株主資本</b>	6,952,305	69.1	6,950,659	70.3	1,645	6,904,311	68.0
資本金	1,140,000	11.3	1,140,000	11.5	—	1,140,000	11.2
資本剰余金	1,120,000	11.1	1,120,000	11.3	—	1,120,000	11.0
利益剰余金	4,699,147	46.7	4,697,295	47.5	1,851	4,649,550	45.8
自己株式	△6,842	△0.0	△6,636	△0.0	△206	△5,239	△0.0
<b>II 評価・換算差額等</b>	83,776	0.8	84,049	0.8	△273	87,484	0.9
その他有価証券評価差額金	83,776	0.8	84,049	0.8	△273	87,484	0.9
純資産合計	7,036,081	69.9	7,034,709	71.1	1,372	6,991,795	68.9
負債及び純資産合計	10,067,109	100.0	9,888,865	100.0	178,244	10,145,600	100.0

(2) (要約) 四半期損益計算書

単位：千円

単位未満切捨

科 目	当第 1 四半期 (平成 20 年 3 月期第 1 四半期)		前第 1 四半期 (平成 19 年 3 月期第 1 四半期)		増 減 (△印減)	平成 19 年 3 月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
<b>I 営業収益</b>	2,649,423	100.0	2,609,951	100.0	39,472	10,504,843	100.0
<b>II 営業原価</b>	2,393,271	90.3	2,418,515	92.7	△25,244	9,753,936	92.9
営業総利益	256,152	9.7	191,435	7.3	64,716	750,906	7.1
<b>III 販売費及び一般管理費</b>	109,337	4.2	112,843	4.3	△3,506	426,213	4.0
営業利益	146,814	5.5	78,592	3.0	68,222	324,692	3.1
<b>IV 営業外収益</b>	14,667	0.6	12,250	0.5	2,416	26,534	0.2
<b>V 営業外費用</b>	4,853	0.2	5,607	0.2	△753	20,959	0.2
経常利益	156,628	5.9	85,235	3.3	71,392	330,266	3.1
<b>VI 特別利益</b>	79,179	3.0	2,541	0.1	76,638	5,118	0.1
<b>VII 特別損失</b>	148,246	5.6	14,754	0.6	133,492	58,947	0.6
税引前 四半期 (当期) 純利益	87,561	3.3	73,023	2.8	14,538	276,436	2.6
法人税等	48,000	1.8	34,000	1.3	14,000	151,949	1.4
四半期 (当期) 純利益	39,561	1.5	39,023	1.5	538	124,486	1.2

(3) 事業別営業収益明細表

単位：千円

単位未満切捨

	当第 1 四半期 (平成 20 年 3 月期第 1 四半期)		前第 1 四半期 (平成 19 年 3 月期第 1 四半期)		増 減 (△印減)	平成 19 年 3 月期	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率		金 額	構成比率
貨物運送事業	2,032,804	76.7	1,935,864	74.2	96,940	7,955,004	75.7
倉庫事業	577,712	21.8	631,911	24.2	△54,198	2,382,732	22.7
その他の事業	38,905	1.5	42,175	1.6	△3,269	167,105	1.6
合計	2,649,423	100.0	2,609,951	100.0	39,472	10,504,843	100.0

以上